

あわべに 淡紅だより

2016年 初冬の号 No. 53

みとめあい わかちあい まち
“あなたと、寛容共生の宝塚に”

宝塚市議会議員

おおしま ときこ
大島淡紅子

■ 議員控室

- Tel (0797) 77-1271
- Fax (0797) 74-1810
- E-mail goiken@tgikai.zaqr.jp

■ 事務所 (月～金 10:00～15:00)

- 〒665-0816 宝塚市平井 1-6-14
- Tel&Fax (0797) 89-4090
- HP <http://ayumukai.jp/>
- E-mail o-ayumukai@poem.ocn.ne.jp

参院選の翌日、沖縄県国頭郡東村高江のヘリパッド(ヘリコプター着陸帯)移設工事が、2年ぶりに再開されたため、地域住民の安全確保・環境保護の観点から中止を求める沖縄県議会の意見書提出をはじめ、地域住民の抗議行動も続き、市民運動リーダーの逮捕という事態になっています。

そんな警備の機動隊員が反対する市民に「触るなクソ。どこつかんどんじゃボケ。土人が」「シナ人」などと発言しました。人間なので挑発的な言動にカッとなるのは仕方ありません。しかし衝撃だったのは、発言したのが20代の大阪府警機動隊員だということです。



「土人」は在沖米兵が蔑称として使い、20世紀初頭の大阪での博覧会で「7種の土人」として沖縄県民を展示した歴史があります。「シナ人」発言は、ネット上での「基地に反対するのは中国に操られた売国奴」という考えからでしょうか。処分されたとはいえ、沖縄出身者や在日中国台湾人が多く住む大阪のしかも「公権力」である警察官の言動で、見逃すわけにはいきません。きちんと今後の対応をとるべきです。

若い人たちに広がる隣国中国への「嫌悪感」を危惧しますが、わたしたちの心にも潜む「差別」を見据え、差別は断じて許さない！と訴えて参ります。

【議会報告】

🔊 主な議案・請願・陳情の審議

一般会計補正予算

➡ 全員一致可決



…12億6,730万円の増額で786億6,740万4千円に。新庁舎・ひろば整備事業、中央公民館整備事業、地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業などの変更

病院事業会計決算認定

➡ 全員一致認定



…収益的収支 収入総額 109億8,565万8,315円 支出総額 111億1,011万7,742円 純損失は1億2,607万2,340円。資本的収支 収入総額 6億7,607万9,000円 支出総額 17億6,846万6,325円 資金不足 10億9,238万7,325円は長期借入金等で補てん

新庁舎・ひろば整備事業用地の取得

➡ 全員一致可決

…NTN(株)宝塚製作所跡地を土地開発公社から27億9,640万2,184円で取得

水道事業会計決算認定

➡ 全員一致認定



…収益的収支 収入総額 43億1,270万4,176円 支出総額 41億4,336万4,773円 純利益 1億5,793万7,403円。資本的収支 収入総額 14億4,565万2,843円 支出総額 31億9,426万7,581円 資金不足 17億4,860万7,915円は損益勘定留保資金等で補てん

中央公民館新築ほか工事請負契約の締結

➡ 全員一致可決



…末広駐車場の一部、勤労市民センターを除去した跡地に10億3,680万円で。(株)明和工務店

災害対応特殊救急自動車の取得

➡ 全員一致可決

…災害対応特殊救急自動車2台



(4,039万2千円(兵庫トヨタ自動車(株)特販営業所から)、高度救命処置用資機材2式(2,505万6千円、日本船舶薬品株式会社神戸支店から)。西消防署と東消防署に配置

乳幼児等医療費助成・こども医療費助成の所得制限についての請願

➡賛成多数採択



☑ 市民ネット・維新・

安誇会・大川・浅谷
…国と県へ財源確保と所得制限の撤廃を要望

事業」は優先順位をつけて不要不急で取り組む

男女共同参画センター指定管理者の指定

➡全員一致可決



…2017年4月1日から5年間、
(特非)女性と子どものエンパワメント関西を指定

継続のために、引き続き就労を希望する者にはできる限り雇用が確保されるよう、モニタリングを継続する。①②を提案し、サイカパーキング(株)を指定

行財政改革への不退転な取組を求める陳情

➡全員一致採択

…①厳正・透明・的確・迅速な行財政運営により、大変厳しい本市の行財政を改善 ②市民に対し危機的な「財政状況」を分かりやすく知らしめて理解と協力を仰ぐ ③行財政改革が確りと定着するまでの間は「重要な施策一覧

武田尾駅前駐車場・宝塚駅前駐車場・自転車等駐車場の指定管理者の指定

➡賛成多数可決



☑ 共産・自民・北山

…＜附帯決議＞①不正行為を行っていたことが判明。市は同社への指導管理を徹底し、今後は十分な事前調査を行うよう求める。②事業の質の確保と高齢者雇用の

花屋敷グラウンドの指定管理者の指定

➡全員一致可決



…2017年4月1日から5年間、
たからづか花屋敷スポーツライフグループを指定

損害賠償の額の決定

➡全員一致可決



…ゆずり葉緑地の鎮魂之碑とタイムカプセルを末広中央公園に移設する工事請負契約を解除し生じた損害賠償の額を97万7,400円に決定

一般質問



1. 相模原市の障害者支援施設における事件をどう読み解くか

☑ 医療的観点からの検証ではなく、人権問題の観点から市としての見解は

Ⓐ 多様な生き方を認め合い、他の人の人権も正しく理解し、相互に認め合う取り組みで、明るく住みよい地域社会をめざす

☑ 児童福祉施設以外の社会福祉施設の、防犯に係る安全確保対策は

Ⓐ 福寿荘は防犯安全対策マニュアル策定準備中。侵入者の防止と早期発見に努める。侵入者には、警察に早期連絡、さすまた購入・防犯訓練実施を検討。民間へは国から注意喚起、市は介護保険事業者協会を通じ周知



キャピリンピック(障がい者運動会)

◆ネットでは犯人に共感する書き込みも多数あり、このような事件を肯定する社会であることが生きづらさと大きく関わっていると考え、質問で取り上げました。

◆9月14日厚生労働省は「中間とりまとめ」として事件の検証を

公表しました。その内容からますます、精神障がい者への差別や偏見を助長しないか、入院から地域での暮らし中心に！という精神医療の方向性を逆行させないか、と非常に危惧します。

◆“生産性のない人間には価値がない。世界経済の活性化こそが人

類の幸福”と、費用対効果が価値観の基準になっている現代人には、「優生思想」をスナリ受け入れる「素地」ができています。それに反して、“個々の国民が個性を持った存在で、かつ幸福に生きる権利を持ち、これを遂行するために国家というサービ

ス機関を作った”という小林節氏の「天賦人權説」。人の存在が最優先で、存在そのものが尊いのです。

◆しかし事件後、被害者名の公表

はなく、個の存在を消さざるを得ませんでした。障がいのある人や家族の多くは、このようなヘイトクライムが自分たちに及ばないかと不安を覚えています。なの

で、12月の障害者週間には、外国のリーダーたちと同様、ぜひ市長から立ち向かうメッセージを出していただきたいと要望しました。

2. ダブルケアラー、ヤングケアラーを支える

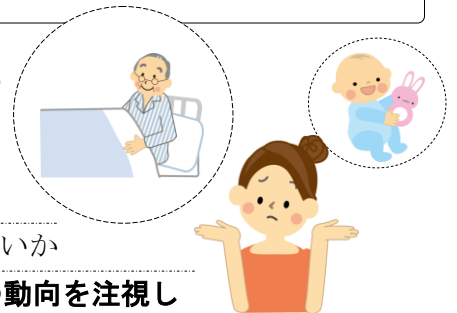
🗨️ 実態を把握されているか

📌 していない。学校園では教育委員会に報告する仕組みがある。

🗨️ 市としての取組み状況は。支援体制の構築は早急に取り組むべきではないか

📌 地域包括支援センターと子育て支援課の一層の連携が必要。今後、国の動向を注視し

先進市を研究する。市教委では、必要あればケース会議等で早期支援できる体制づくりに努めている



◆家族などの無償の介護者をケアラーといい、ダブルケアラーは育児と介護を同時に抱えている状態です。

18歳以下の子どもがいる母親は介護（予備軍含む）を5人に1人が経験。中でも30代では、4人に1人以上と決して少なくありません。また多様なダブルケア

（例えば夫の看護と子育てなど）

やトリプルケア

も見られます。



しかし多くの場合は相談先を知らず、ケアラーは負担感（精神・体力・経済）を感じています。

◆一方、ヤングケアラーは家族の介護や幼い兄弟の世話に携わる若年層を示し、具体的には「子どもケアラー」（18歳未満）と「若者ケアラー」（18歳～30代）の総称です。就学・進学、就職、社会参加の機会を侵害・奪われたりすることで、社会的スキルに乏しくなり、友人関係をうまく築けず、社会的孤立に陥りがちです。

◆行政としての役割は、①ケアラーの実態とニーズの把握、②ケアラーについての啓発・広報、③効果的な支援プログラム作り・ツールの開発④人材育成（専門職と市民）です。

そして最も必要なのは、関係部署の「連携」なのです。

◆今の政策では要介護者への支援の視点しかありません。しかし同等に介護者の支援が重要です。

「新ケアシステムにケアラーの視点を！」と要望しました。

3. 「子ども食堂」と教育支援について

🗨️ 「子どもの貧困に関する実態調査」の概要、今後の計画は

📌 調査業務委託事業の予算を今議会で計上。小5生・中2生とその保護者対象で、地域で偏らぬようアンケート、来年6月までに報告

🗨️ 「子ども食堂」への支援は

📌 市内では子どもから高齢者までが一緒に集い、ご飯を食べる地域の取組がある。相談あれば、県の制度や活動団体に繋ぐ

🗨️ 子ども未来部だけの問題ではない。各部署の連携は

📌 「子ども食堂」も課題の一つと捉え、実態調査結果の上、関係部局一体となり、施策検討したい。市教委では、家庭へのビラ配布・ポスター掲示などの周知が考えられる

🗨️ 中学生への教育支援は

📌 各校で補充学習、人権文化センターで定期的に自主学習支援。高校生も参加している



「たからづか子ども食堂」にて

◆実態調査では何を知りどういう事業を展開するのかを掴まねば意味がありません。無知な国会議員がネット上で女子高生を攻撃していましたが、日本は飢餓の状態ではなく、所得格差が大きく相対的貧困の割合が高いのです。ですから、「物質的剥奪指標」を用い、生活の質（絵本や自転車の所有、家族との年1回のお出かけなど）をはかります。直接、子どもの声が聞ける自由記入も必要。ぜひ、貧困・格差研究の第一人者である阿部彩先生からのアドバイスを！と要望しました。



阿部先生は熱いハートの学者さん

◆「子ども食堂」の問題点は「本当に繋がりたい人に届かない」こと。ならば、普遍性を求める公の役割は等しく支援すること。実際、明石市は来年度までに全小学校区に整備する計画と聞きました。ま

た保有する個人情報に基に、繋がりたい人に「〇日に△で子ども食堂やってるよ」と声掛けができるのも公です。

◆生活困窮を発見し支援に繋がたい福祉部門と、生活困窮を発見することはいじめに繋がらないかと危惧する教育部門の部署間連携の困難は重々承知していますが、今は急を要する問題です。

◆貧困問題は、社会保障や富の再分配・労働に関する法整備で格差を是正するなどの国策が必要で、いつまでも自己責任論に執着し、小手先の対症療法で凌ぐことが続けば、貧困が原因とされる非常に多くの社会病理は益々複雑化・深刻化し、手が付けられない状況に陥ることは目に見えています。貧困で着眼すべきは「貧しさ」ではなく、貧乏な家庭環境により生活するうえで「困った」状態になりやすい社会問題だということです。また、子どもの貧困では、“自己肯定感の喪失”が最大の問題で、特に日本の子どもは深刻です。ですから、まずは「食事・居場所」という「安全安心」の確保、あたったかい地域とのつながりで「確か



子ども食堂とは

地域の大人が子どもに無料や安価で食事を提供する、民間発の取り組み。貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供し、安心して過ごせる場所として始まった。そうした活動は古くからあるが、「子ども食堂」という名前が使われ始めたのは2012年。最近は、地域のすべての子どもや親、地域の大人など、対象を限定しない食堂が増えている。食堂という形を取らず、子どもが放課後に自宅以外で過ごす居場所の中で食事を出しているところもある。

(2016年7月2日付 朝日新聞)

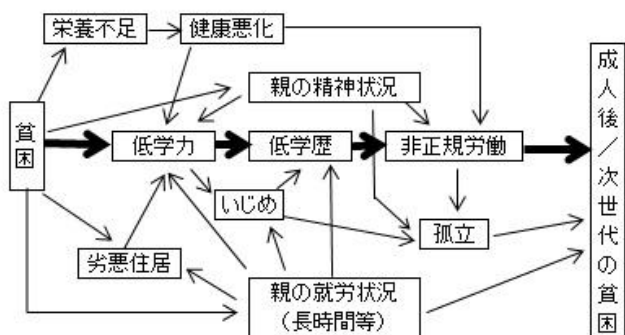
な自己肯定感」を得ることが急務です。

◆宝塚では既にサロンなど地域の居場所づくりがなされており、そこに「食」を結び、子どもも来やすくした「地域食堂」型が大半です。「子ども食堂」は、困っている子どものためだけではなく、全ての参加者が他人に思いを馳せながら、できることをすることで、「地域社会を紡ぎなおす」きっかけになると信じています。

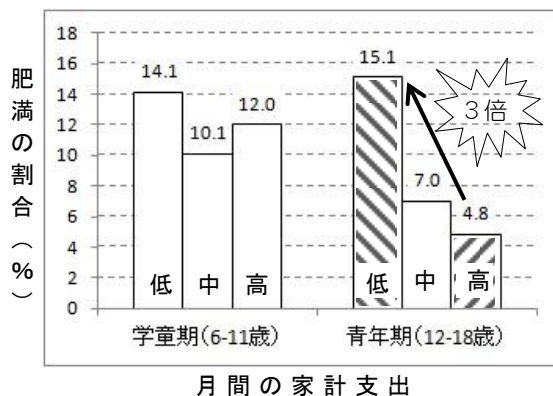


阿部先生の研究から

● 貧困の連鎖はどのようにして起こるか



● 青年期では貧困層ほど肥満



「子ども期の貧困→低学歴→非正規労働→低所得→生活困窮」だけではない。



「親の経済格差が肥満に及ぼす影響」(日本医科大学、6~18歳794名対象)では、青年期の子どもの肥満率は、家計支出低層が高く、高層の約3倍。



「序曲」

九月

特選 柚の香や漆器に泳ぐくずし仮名

◇ ベランダに音で飛び出す遠花火

十月

特選 秋晴や窓越しにパン選びをり

◇ 国言葉飛びかう宿や秋遍路
◇ 朝ぼらけ沢に鶴鴉尾を打てる

杉山鮎水 選



純子 峯子

栄子 恵之輔 峯子

会員募集中です。御一緒に俳句を楽しみませんか。気軽にお問合せください。

映画上映会のお知らせ

「高江－森が泣いている」(2016)



監督・
藤本幸久
影山あさ子



沖縄のやんばるの森に囲まれた東村・高江で、アメリカ軍のヘリパッド建設の阻止活動をする市民と彼らを排除しようとする警察や機動隊を捉えたドキュメンタリー。2016年夏、全国から集められた機動隊らが県道を封鎖し、オスプレイのためのヘリパッドの建設に反対する人々と対峙する。

いま沖縄で何が起きているのかー

参加無料

と き： 12月19日(月) 13:20~14:40

ところ： 東公民館2F セミナー室 (阪急山本駅から南へ8分)

き
淡
の
声



【10月5日】Oさんが、亡くなられてからかなり経った状態で発見された。こんな結末にならぬよう、2年半関わらせていただいたのにードアポストからこぼれたチラシに交じって、私のメッセージが落ちていた。来世は幸せな家庭に生まれて来てと願わずにいられない。前日、孤独死されたお年寄りがみつかったばかりだ。家族に囲まれ往くことが、こんなにも難しくなってしまった社会とは：【10月10日】大島淡紅子と歩む会・平和憲法をひろげる兵庫県民会議の共同企画で、自衛隊「中部方面隊創隊56周年記念行事」に行った。軍事マニアや家族連れ

でこつた返していたが、自動小銃やら戦車の前を通るほど、「これで戦地へ出かけるのか」と暗澹たる想い。極め付け「展示訓練」では、戦争の一端に触れ、一般観客で手をたたく人はいなかった。隣では友人が泣きながら観ていた『犬死』近づいて来た子どもを撃つても地獄、撃たなくてもあの世行き。「敵を殲滅せよ」の号令で戦車や自衛官が突撃する様は、十数年前に観た訓練を明らかに超えていた【10月12日】Aさん、壮絶な17年間をよくぞ生き抜かれた。負けるもんか！の闘志と子どもの存在があったから。これからの幸せを願う／県北摂丹波地区里親会会長と里親支援専門相談員さんと懇談。高い志を持ち活動する2人の



自衛隊展示訓練

女性のバイタリテイ。本当に信頼できる里親かを見極める。お試し」にも、「牛乳を毎日和室にぶちまけるのが半年続いたのには参ったわ」とさりと仰る。「レジリエンス」これからの社会を生きるためのキーワードだ。《十月の活動から》